



田村剛一議員  
(無所属)

# 児童生徒の行動や学習定着度は 震災前に比べ学力は向上

**問** 震災後2、3年ころから児童生徒の心身状態が不安定になるといわれる。子どもたちの行動や学習定着度に変化はないか。

**佐々木教育長** 行動様式については変化はほとんどないが、震災前に比べ学力は向上している。学習定着度調査では、小学4年生は県平均、5年生は県平均を上回っている。中学1、2年生は県平均を下回っているが、どの教科においても震災前に比べ10ポイントほど上昇している。

**問** 素晴らしい教育の成果である。このような子どもたちに夢を持たせる町づくりを進めてほしい。

**佐々木教育長** 将来に向かって、どういう思いを持ちながら生活するか、

ということを各学校で重点的に取り組んでいる。**佐藤町長** 同感である。震災に負けず、次の世代を担う精神的にも強い子どもを育てていきたい。



船越小学校の公開授業の様子

## NPO問題 目的外支出を許した責任は 行政にも結果責任はある

**問** NPO法人23年度事業の再調査で約1億7千万円の目的外支出が明らかになった。これに対する対応は。

**佐藤町長** 再精査分を加え総額6億6948万円の損害賠償請求を行う予定である。**問** 再精査で一番問題に

なったのが御蔵の湯である。どう解決するのか。**佐藤町長** 御蔵の湯は、NPOの管財人とリース会社の間で所有権が争われている。町としては建物撤去が第一と考える。

**問** NPO法人の目的外支出を放任した行政の責任をどう考えるか。

**佐藤町長** 目的外支出を放任したわけではない。法人の支出行為に問題はありますが、行政にも結果的に責任があると考えている。

## 山田地区の事業の遅れが心配 28年度から住宅建築が可能

**問** 被災住民は復興事業の遅れを心配している。山田地区の復興事業の進捗状況はどうなっているのか。

**佐藤町長** 現在用地交渉

中で、26年度に造成工事着工、28年度から住宅建築が可能となるよう事業を進めたい。

**問** 長崎地区のかさ上げを早く進め、柳沢地区と同じように住宅再建ができるようにしては。

**阿部建設課長** 長崎地区単独で進めるのは難しいが、来年度からJR陸中山田駅跡前の津波復興拠点整備事業と一体で本格的に着工したい。

### その他の質問

- ◆ 三陸ジオパークと観光開発について
- ◆ 台風被害について